



ひよこ組

【11月の保育のねらい】

- ・散歩や戸外遊びで自然に触れたり、身体を十分に動かす。
- ・自分の気持ちを声や仕草で表現しようとする。



11

月号 クラスだより



りす組

【11月の保育のねらい】

- ・散歩や園庭に出てあそび、秋の自然に触れて楽しむ。
- ・スプーンやフォークを使い、自分で食べようとする。

＜秋のおさんぽ＞

段々と秋らしい日が増え、散歩に出かけることが多くなりました。お気に入りのポシェットを下げ、散歩へいくことを心待ちにしている子どもたちです。公園に着くと「あった!」「みてー!」とどんぐりや小石、葉っぱなどたくさんの発見を楽しんでいます。公園にある大きな石の上に、見つけたどんぐりや葉っぱを並べることも楽しい遊びのひとつです。

“いっぱい”が良いりす組の子どもたちは、ポシェットの中に“いっぱい”入れたくて、どんぐりや木の実を夢中で探している姿もあります。また、木の後ろに隠れた保育者を「いた〜!」「ばあ!」と見つける遊びも好きです。「おーい!ここだよー」と言う保育者の声を聞いて、“次はどこだろう?”と探して楽しんでいます。

これからもたくさん身体を動かして発見や散歩を楽しんでいきたいと思ひます。

【11月の保育のねらい】

- ・友だちと一緒に、ルールのある遊びや全身を使った遊びを楽しむ。
- ・好きな物語に親しみを持ち、登場人物になりきったり必要な道具を作ったりして遊ぶ。



さくら組

＜話し合い＞

保育園での生活の中では、よく“話し合う”という機会が生まれます。行事に関わる大きなものから、日々のちょっとした場面まで、その規模は様々です。例えば朝の集まりで日中の遊びを決める時…

- Aくん「今日晴れだって!お天気のお姉さんが言った。」
- Bくん「じゃあ、お散歩行きたい!」
- みんな「いいね〜!」
- Cくん「僕はお散歩行きたくない…」

…と、意見が真っ向からぶつかることがよくあります。もちろん輪の中からは「えー」と不満の声も聞かれますが、最近では「じゃあ何がしたいの?」と相手の声を聞こうとする姿がみられるようになってきました。上記の場面では、自分の思いを聞いてもらえたことで、頑なだったCくんの気持ちも少し柔らかくなり、その後にあがった「今日は散歩に行って、明日〇〇するとか?」という提案を、「それならいいよ」と受け入れてくれました。

時には「じゃあ、やりたいこと全部やればいいじゃん!」という意見に賛成が集まって、挑戦した結果すべて不完全燃焼に終わる…といった場面もありますが、それも子どもたちにとっては大切な経験だと思います。大人が先回りしすぎず、子どもたちが“自分たちのこと”として話し合い、色々な決めごとをしていくことを大切にしています。



うさぎ組

【11月の保育のねらい】

- ・楽しい雰囲気の中で、食べられる量を食べきる。
- ・洋服の畳み方を保育者に教えてもらいながら知っていく。

＜これたべたいな＞

乳児クラスの食事は調理室でお皿や器に決まった量を盛り付けをしてくれ、ひとりひとり配膳されます。夏ごろから苦手なものははっきりと「たべない」「手をつけない」という姿が出てきていました。食べたくないものがたくさんお皿に乗っていると、大人でもがっかりすると思います。そこで、大人が調整して、あまり進まないものは子どもたちに聞いて少し減らすようにしてみました。減らすことで、「この量ならちょっと食べてみようかな」と挑戦しようとする姿も見られるようになってきています。11月からは、盛り付けされているのを減らすではなく、大皿でクラスの人分だけの料理をもらい、メニューを見て、自分で食べられる量をきめて、「食べられる分は食べてみる」というようにやっています。(とはいえ、食べられないこともあります)最初は苦手なものは一口にも満たない量かもしれませんが、自分で決めた量を食べることで、苦手だと思っていたものが食べられるようになっていくなると思ひます。食べられないものを「栄養があるから!!」「たくさん食べてほしいから!!」と盛り付けるのではなく、食べられる量をおいしく食べ、食べられたらおかわりして食べる。何より食事が楽しい時間になるようにしていきたいです。

【11月の保育のねらい】

- ・お互いに考えを出し合いながら、友だちと協力し合って遊びや活動を進めようとする。
- ・秋の自然に触れ、遊びに取り入れるなどして自然事象への関心を高める。

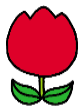


もみじ組

＜成長を祝う会＞

友だち同士褒め合ったり、励まし合ったりすることで支え合いながらみんなで頑張った運動会でした。金メダルをもらったことで自信がついたのか、表情が変わったように思ひます。今度は12月に行く成長を祝う会があり、さくら組のときのことや昨年のもみじ組がやっていたことなどを思い返しながら、少しずつ話し合いを始めています。普段の遊びの中では、紙芝居やペープサートを手作りし、オリジナルのお話を作ってその役を演じて遊ぶ姿が増えてきました。ちょっぴり緊張しながらもみんなに読んで見せてくれます。

今は1人ずつ何をしたいのか聴いている途中です。ブンブンごま・劇・あやとり・しりとり・歌…などなど、やりたいものがたくさん出てきています。運動会同様、どんなふうになりたいのかなど今度は具体的に話し合っていきます。作っっていくまでの子どもたちの考えを大切にしながら、もみじ組の成長を祝う会を作り上げていきたいと思ひます。



ちゅうりっぷ組

【11月の保育のねらい】

- ・どんぐりや落ち葉など、秋の自然に興味を持ち、遊びに取り入れる。
- ・しっぽ取りや追いかけてっこをして、友だちと楽しく遊ぶ。

＜秋＞

秋の一大イベント、運動会が終わりました。子どもたちの笑顔がたくさん見られ、「がんばった」と口々に言う姿を見て、“本当にその通り!”とたくさんほめてあげました。

運動会後はようやく秋らしくなり、散歩に行き始めています。今はどんぐり収穫の真っ最中です。薬師公園には形の違うどんぐりがたくさん落ちていて、子どもたちは夢中になって拾い集めています。虫が好きな子はだんご虫や蟻を見つけようと、植え込みを覗いて

しゃがみこんでいます。行き帰りの道中では、「なんかあまいにおいがするね」「かきがなってる」なんていう声も。都会に住んでいても身近な自然に気づいて、興味を持てるのって本当に素敵です。

友だちと手をつないで歩くのはまだまだ難しいようですが、ここは経験の積み重ね。毎日出かけて自然の中で遊び、友だちと楽しさを共有できたらいいな、と思ひています。